

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	選択
担当教員			
青木 順			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	LG (語学・言語学)	106 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	世界における中国の役割が大きくなるにつれて、中国語が必要とされる機会も多くなっている。 中国語は漢字を使うことから日本人に親しみやすく、学びやすい言語といえるが、発音においては日本語にない発音が多い為正確な発音を習得するには少々時間を要する。そこで本講座は、発音の練習等を重ね、語彙を増やすとともに簡単な挨拶・会話ができる力を身につける事を目標とする。なお、中国文化に関する資料を適宜紹介し、現代中国に対する理解を深める。		
授業計画	第1回	【遠隔】 ガイダンス：中国、中国語についての概説、授業の進めかた、目標、成績評価などについての説明。 ピンイン（発音記号） / 声調、単韻母と簡単な挨拶	
	第2回	【遠隔】 ピンイン（発音記号） / 複韻母と簡単な挨拶	
	第3回	【遠隔】 ピンイン（発音記号） / 声母と簡単な挨拶	
	第4回	【遠隔】 ピンイン（発音記号） / 声母と簡単な挨拶	
	第5回	ピンイン（発音記号） / 鼻韻母と簡単な挨拶	
	第6回	声調の変化と簡単な挨拶	
	第7回	【課題】 前半のまとめと演習 指定の問題を書き込み提出	
	第8回	私は日本人です。（「～は～です」の文法、活用、会話練習）	
	第9回	【課題】 お名前は何か？（「～といいます/か」の文法、活用、会話練習） 中国語で自己紹介文を作成して提出	
	第10回	行きますか？（動詞の述語文、活用、会話練習）	
	第11回	パンを食べます（目的語、活用、会話練習）	
	第12回	コーヒーを飲みたいです。（「～したいです」の文法、活用、会話練習）	
	第13回	どうぞ（「～してください」の文法、活用、会話練習）	
	第14回		

	いくらですか？（数字、「～すぎる」などの文法、活用、会話練習） 第15回 【課題】 後半のまとめと演習 指定の問題を書き込み提出
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
到達目標	受講後には中国語のピンイン（発音記号）を正しく発音でき、簡単な挨拶、自己紹介等ができるようになる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テスト等の全体的な注意点等を授業内で解説します。
履修上の注意	外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、予習・復習などに積極的に取り組むこと。
成績評価の方法・基準	課題への取り組み（40％） 期末試験（60％）
教科書	講師作成のテキスト使用
参考書・教材	
備考	演習科目
教員との連絡方法	オフィスアワーを利用する。（授業当日13:45～14:15）